

## 令和6年度第6回「知事と一緒に生き生きトーク」発言要旨

- 1 テーマ：「こどもまんなか社会」の実現に向けて
- 2 日時：令和6年8月7日（水） 14:00～15:20
- 3 場所：岡山大安寺中等教育学校（岡山市北区北長瀬本町 19-34）
- 4 参加者：県立学校の中学生、高校生7名
- 5 知事挨拶

皆さんが目指す将来像に向けて、現在取り組んでいること、希望や不安に感じていること、家族や社会、行政など周りの支援や理解が必要なことなどについて率直に教えてほしい。

### 6 発言内容等

#### 【自己紹介及び学校で取り組んでいること、目指す将来像など】

- ・生徒会執行部副会長を務め、生徒の学校生活を向上させる取組や、岡山県の人口の地域差に関する調査を行っている。将来は県内で地域医療を支える仕事に就きたい。
- ・陸上部に所属。将来は小学校や高校の教師など教育関係の仕事に就きたい。また、日本語教師など、海外を視野に入れた職業にも興味がある。
- ・大学で観光学や社会学を学び、県内で岡山県の観光業を盛り上げる仕事に就きたい。人口減少や若者の人口流出が岡山県の課題と考えているが、岡山の魅力を伝え、県内の人には岡山に住み続けたいと思ってもらえるように、また、県外や海外の人にはまた来たいと思ってもらえるようにしたい。
- ・誰かのために率先して行動できる人になりたい。ファッションデザイナーになり、老若男女全ての人の個性が輝く素敵な服で、笑顔あふれる街づくりに貢献したい。
- ・放送文化部に所属し、学校の魅力や日常の様子を伝える動画を作成している。引き続き大学でも情報技術を学び、将来は県内で情報科目の教師になりたい。
- ・ソフトボール部に所属。実家から遠い高校に進学したため寮生活をしている。現在は寮長。学業とソフトボールが両立できると思い、進学を決めた。看護師と助産師の資格を取りたい。
- ・生まれつき視覚に障害がある。中国・四国地区盲学校弁論大会へ出場し、ジェンダーに関する弁論を行った。将来は声優になりたい。パソコンを学び、職業に役立てたいという思いもある。

#### 【将来への希望や不安、周りの支援や理解が必要なことなど】

- ・県外の大学に進学した場合に、岡山県に戻って就職する際の支援があれば、県内で就職しやすくなる。

- ・グローバルな活動をしたいが、経済的なサポートが必要であり、家族に申し訳なく思っている。海外での活動を周りに理解してもらうために自分自身の努力も必要だが、様々なことへの挑戦を認めてもらえる環境があると嬉しい。
- ・小学校教師になりたい気持ちもあるが、労働環境が厳しいと聞くので躊躇してしまう。
- ・観光に関わる仕事に従事したいが、高校生が実際に職場を見たり経験したりする機会がなく、具体的にイメージできない。高校生向けの説明会やインターンシップなどを実施してほしい。
- ・周りの目を気にして自分の好きな服を着ることに抵抗があるのかもしれないが、都会と比較して、岡山では清楚でシンプルな服を着ている人が多い。ファッションデザイナーになりたいが、職業として不安定なことが心配である。
- ・教師になりたいが、続けられるかどうか不安である。民間経験者も含め多くの人を採用するためには、給与を上げる必要があるのではないか。楽しく続けられる職場環境が大切だと思う。
- ・高校卒業後に就職する人もいるが、納税方法を知らないことに不安を感じる人も多い。納税方法に関する授業や、納税を体験できるシステムを作ってもらいたい。
- ・看護の実習は朝が早く、交通手段を変えざるを得ないことがある。交通手段を変えた場合、定期券が使えないこともある。通学費用の支援があればうれしい。
- ・岡山県は特に子育て支援に力を入れていて、「ももっこカード」などの取組があるが、知らない人が多いと思う。支援がもっと周知され、利用が広がれば育児に対する不安が減少するのではないか。
- ・視覚障害者の就労事例がない職業が多くあり、希望の職業に就けるか不安。障害を理由に就職試験を受験できないことがないようにしてもらいたい。
- ・行政には、視覚障害者が生活しやすい環境づくりをお願いしたい。ヘルプマークを付けていても、声をかけても無視されたり、声をかけてもらえなかったりする。どう声をかけてよいかわからない人もいると思うが、声をかけてもらえるだけで助かる。

## 7 知事まとめ

- ・完璧に理想の社会を実現することは難しいかもしれないが、少しずつではあるが良くなってきていると思う。社会に出ておかしいなと思うところは、皆さん自身でも、どんどん良くして行ってほしい。
- ・県としても、すべての県民の皆さんが明るい笑顔で暮らせるような岡山県になるような様々な取組を積極的に進めていきたい。